

平成30年5月18日出水概要

湯沢河川国道事務所
秋田河川国道事務所

平成30年5月18日-19日出水の概要 雄物川上流 《5月23日時点》

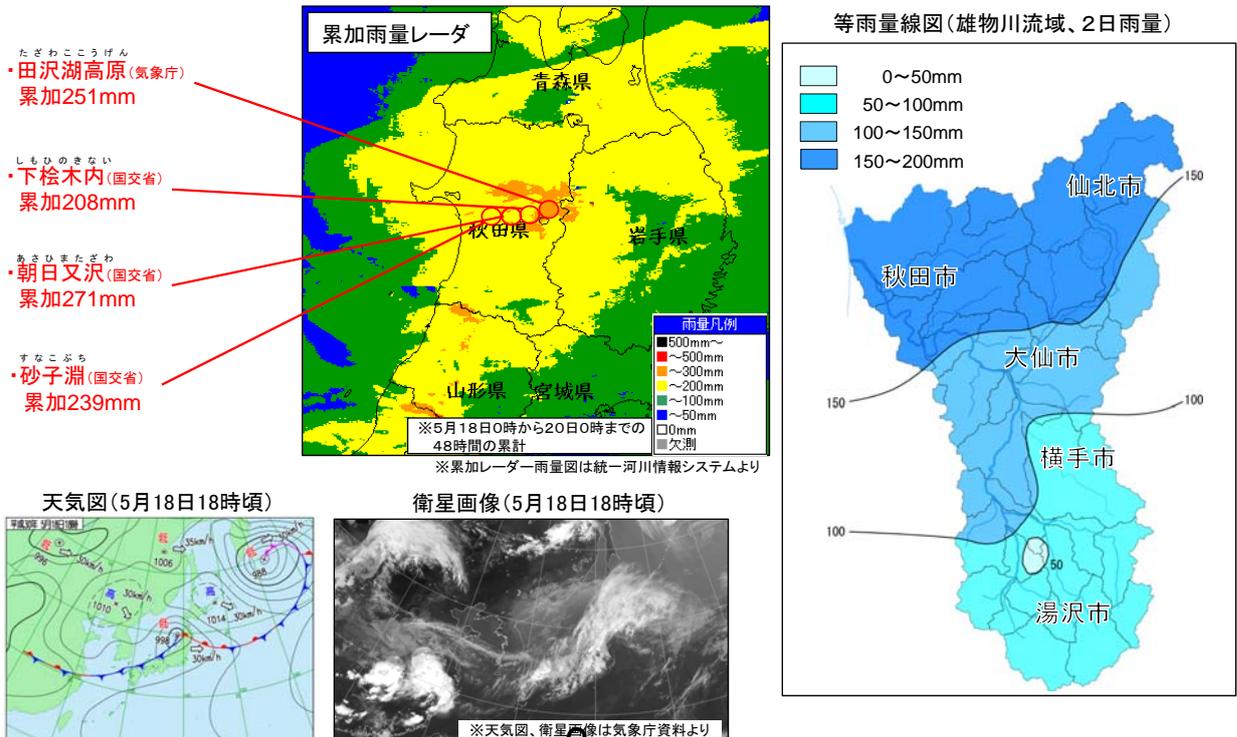
《ポイント》

- 5月期において観測史上最大の雨量を記録
- 5月期において過去50年で第1位の水位を記録
- 水防団・防災エキスパート・地元企業等の活動
- リエゾン活動、ホットライン・緊急速報メールの実施
- 排水ポンプ車の出動により、浸水被害を軽減

速報版に付き、今後情報が変更となる可能性があります。

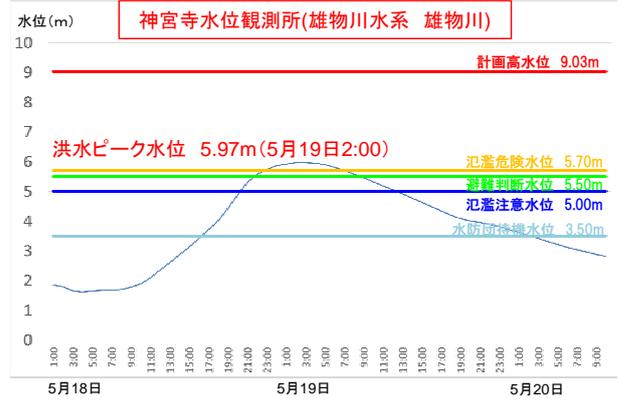
平成30年5月18日-19日出水の概要

- 前線の影響により、雄物川流域では5月18日の0時頃から非常に激しい雨が降り始め、特に秋田市と仙北市において降水量が多く、多いところで**累加雨量200mmを超える**大雨となった。
- 砂子淵雨量観測所(国交省所管)では24時間雨量141mm、朝日又沢雨量観測所(国交省所管)では同158mmを記録し、**5月期の降雨では観測史上最大**となる雨量となった。



平成30年5月18日-19日出水の概要

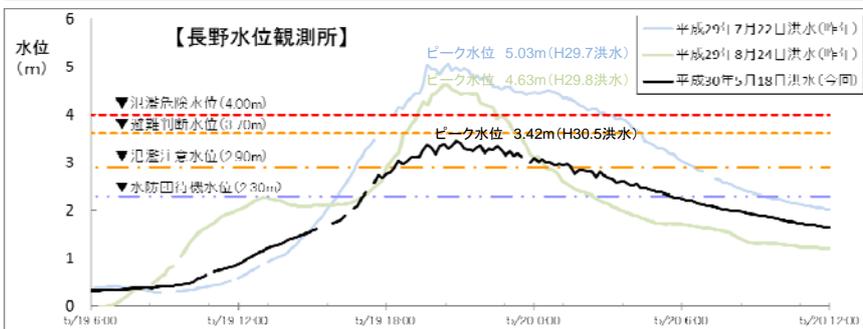
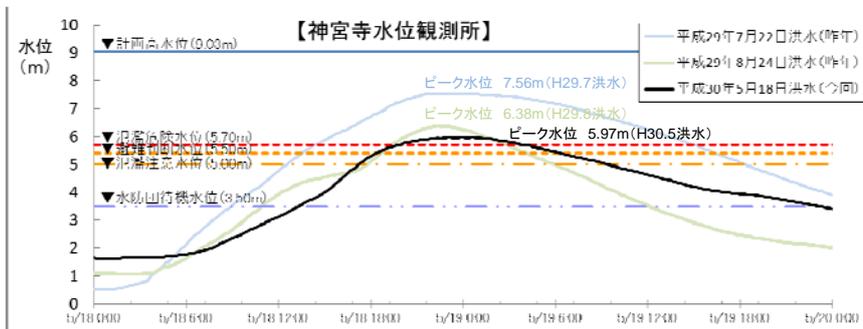
- 今回の大雨により、大仙市の神宮寺水位観測所では**氾濫危険水位を超過**、長野水位観測所では**避難判断水位に迫る**大きな出水となった。



※水位の数値は正時データ

5月期において過去50年で第1位の水位を記録

- 神宮寺水位観測所、長野水位観測所では、**5月期において過去50年で第1位**の水位を記録した。
- 神宮寺水位観測所では、5月期において過去50年で水防団待機水位を超えたのは2回のみであり、**氾濫注意水位を超えたことはなかったが、今回は氾濫危険水位を超え、昨年の8月洪水に迫る水位を記録した。**



5月期の過去50年における上位5洪水

【神宮寺水位観測所】

順位	発生年月	水位(m)
1	H30.5.18洪水	5.97
2	H45.8洪水	4.12
3	H95.8洪水	3.77
4	H85.9洪水	3.42
5	H85.2洪水	3.39

【長野水位観測所】

順位	発生年月	水位(m)
1	H30.5.18洪水	3.42
2	H95.8洪水	3.12
3	H45.8洪水	2.26
4	H55.13洪水	1.83
5	H85.2洪水	1.51

※水位の数値は正時データ

雄物川の出水状況



水防団・防災エキスパート・地元企業等の活動

<地元企業、防災エキスパート、コンサルタント、水防団の活動>

- 地元企業による河川巡視、防災エキスパート・コンサルタントによる現地確認等を実施。
- 自治体においては水防団が出動し、河川状況を把握。



▲ 地元企業による河川巡視



▲ 防災エキスパートによる河川管理施設の現地確認



▲ コンサルタントによるUAV現地調査

<地元測量業者の活動>

- 地元測量業者による浸水状況調査、洪水痕跡調査等を実施。



▲ 地元測量業者による浸水状況調査



▲ 地元測量業者による洪水痕跡調査



リエゾン活動・ホットライン・緊急速報メール

<リエゾン活動の実施>

- 自治体と「災害時の情報交換に関する協定」を締結しており、今回の災害にあたり、湯沢河川国道事務所からリエゾン（災害対策現地情報連絡員）を大仙市へ派遣。
- 2名のリエゾンを派遣し、被害状況などの情報共有や市の要請などを伝達。
- リエゾンを通じて雄物川の水位情報・氾濫状況等を大仙市へ伝達。



▲大仙市災害対策本部において老松市長と情報共有

<ホットラインの実施>

- 市長等と湯沢河川国道事務所長の間で情報交換（ホットライン）を実施。（合計9回）

5月18日	16:30	【湯沢河国⇒大仙市】	水位及び現地状況伝達、リエゾン派遣連絡
	18:24	【大仙市⇒湯沢河国】	水位及び現地状況伝達
	18:55	【湯沢河国⇒仙北市】	水位状況伝達、支援協力体制連絡
	18:58	【湯沢河国⇒横手市】	水位状況伝達、支援協力体制連絡
	19:01	【湯沢河国⇒美郷町】	水位状況伝達、支援協力体制連絡
	20:52	【大仙市⇒湯沢河国】	水位状況伝達
	21:44	【湯沢河国⇒大仙市】	水位状況伝達
	22:45	【湯沢河国⇒大仙市】	水位状況伝達
5月19日	3:30	【湯沢河国⇒大仙市】	現地状況伝達



▲湯沢河川国道事務所 災害対策室において各市町長とのホットラインを実施

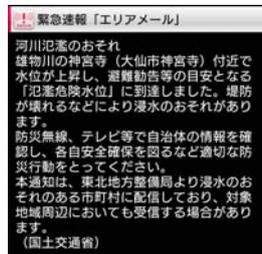
<緊急速報メールの配信>

- 氾濫危険水位超過情報について緊急速報メールを配信。

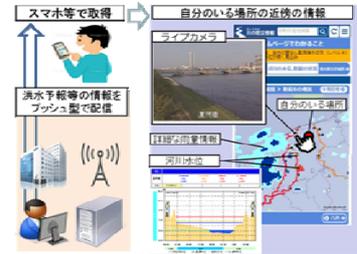
災害発生時に地域住民の方々が適切な防災行動が行えるようにプッシュ型配信による情報提供を行うこととしており、今回発生した洪水において、昨年に引き続きプッシュ型配信を実施。

5月18日 23:18 大仙市神宮寺（氾濫危険水位到達）

▼今回配信されたメール画面



▼プッシュ型メールの例



排水ポンプ車の効果（試算）

1. 排水ポンプ車による排水活動（大仙市^{はまちよう}浜町地区）



▲内水（宅地側にたまった水）を丸子川へ排水

排水活動による効果

- 排水ポンプ車（30m³/min）約8時間稼働により、14,790m³の内水を排水。（25m⁷ール約40杯分に相当）
- 仮に、排水が行われなかった場合、周辺の地区においては、約3haの浸水が発生したと想定。
- 今回の洪水では浸水被害が発生しておらず、排水ポンプ車による効果と推察される。



想定される浸水範囲（浸水面積：約3ha）（浸水家屋数：約101戸）

5/18 21:43 排水開始
5/19 5:56 排水終了

排水ポンプ車の効果(試算)

2. 排水ポンプ車による排水活動(大仙市角間川地区)



▲ 内水(宅地側にたまった水)を雄物川へ排水

排水活動による効果

- 排水ポンプ車(60m³/min) 約7時間稼働により、24,360m³の内水を排水。(25mプール約70杯分に相当)
- 仮に、排水が行われなかった場合、周辺の地区においては、**約4haの浸水が発生したと想定**。
- 今回の洪水では浸水被害は発生しておらず、排水ポンプ車による効果と推察される。



想定される浸水範囲(浸水面積:約4ha)(浸水家屋数:約8戸)

5/19	0:40	排水開始
5/19	7:26	排水終了

(参考) 支部体制・洪水予報・水防警報の発令状況

◆ 災害支部体制

	注意体制	警戒体制	非常体制	警戒体制	注意体制	解除
河川	5月18日 16時20分	5月18日 18時20分	5月18日 22時50分	5月19日 10時30分	5月19日 13時00分	5月20日 8時30分
砂防	5月18日 16時00分	5月18日 20時00分	—	—	—	5月19日 10時30分

◆ 洪水予報発表状況

河川名	観測所(市町村)	はん濫注意情報	はん濫警戒情報	はん濫危険情報	はん濫発生情報	解除
雄物川	大曲橋(大仙市)	5月18日 23時20分 レベル2継続	—	—	—	5月20日 8時50分
	神宮寺(大仙市)	—	5月18日 21時15分	5月18日 23時20分 レベル4継続	5月19日 4時25分	5月20日 8時50分

◆ 水防警報発表状況

河川名	観測所(市町村)	待機	準備	出動	解除
雄物川	大曲橋(大仙市)	—	5月18日 19時50分	—	5月19日 15時00分
	神宮寺(大仙市)	5月18日 16時30分	—	5月18日 20時30分	5月19日 15時00分



▲ 湯沢河川国道事務所 災害対策室の状況

平成30年5月18日～19日(前線)出水概要 《第1報 5月22日 17時 時点》

＜今回のポイント＞

- ・国管理の雨量観測所で5月期として観測史上最大の日雨量を記録
- ・樺川水位観測所で5月期として戦後最大の水位を記録
- ・秋田市雄和地域において溢水による氾濫被害(約82ha)が発生
- ・排水ポンプ車による排水活動により、浸水被害を軽減
- ・引き続き、H29.7出水対応の「雄物川の緊急的な治水対策」を推進

雄物川 新波地区・向野地区・左手子地区



平成30年5月19日 11時頃撮影

東北地方整備局
秋田河川国道事務所

※数値は速報値ですので今後の精査等により変更する場合があります。

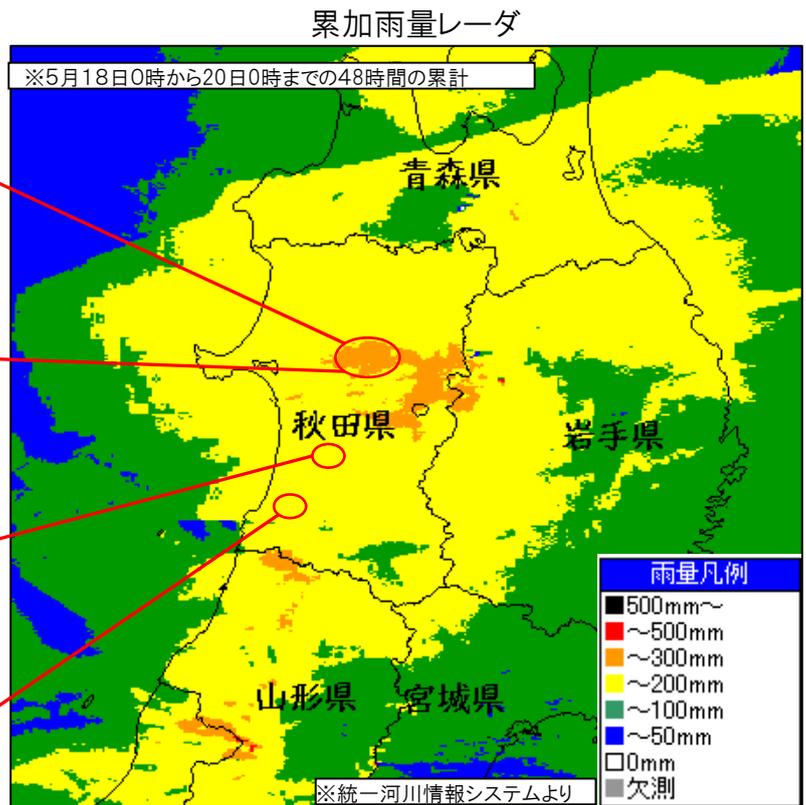
平成30年5月18日～19日（前線）の概要

活発な前線の影響で、秋田県で非常に激しい雨が降り、累加雨量は多いところで累加雨量が200ミリを超える大雨となった。

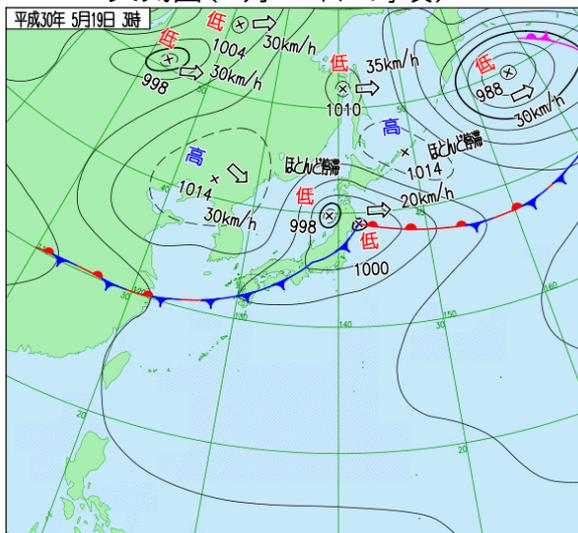
秋田市や由利本荘市等に設置している国土交通省管理の雨量観測所では、5月期として観測史上最大の日雨量を記録した。（砂子淵、朝日又沢、赤田、冬師）

また、^{つばきかわ}椿川水位観測所では、19日11時に氾濫注意水位を超える7.57mの水位を記録し、5月期として戦後最大の水位となった。

- すなこぶち
・砂子淵（国土交通省）
 日雨量 **141mm**
 累加雨量 **251mm**
- あさひまたざわ
・朝日又沢（国土交通省）
 日雨量 **158mm**
 累加雨量 **271mm**
- あかた
・赤田（国土交通省）
 日雨量 **125mm**
 累加雨量 **143mm**
- とうし
・冬師（国土交通省）
 日雨量 **110mm**
 累加雨量 **152mm**

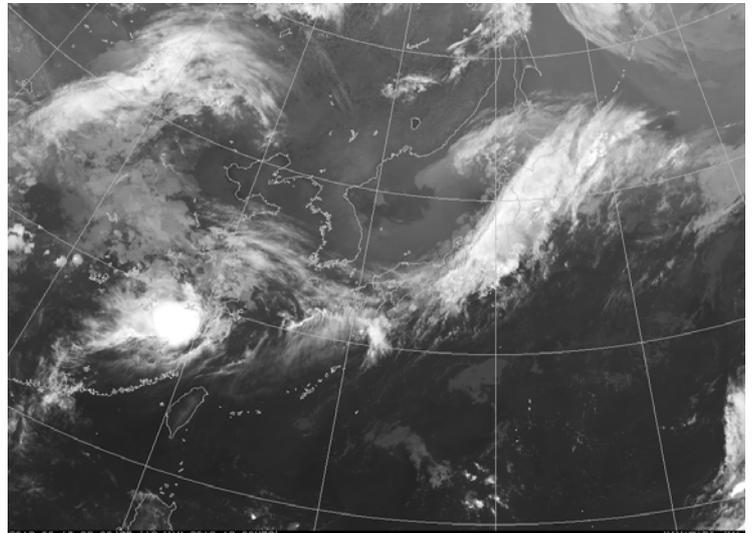


天気図(5月19日3時頃)



※気象庁資料より

衛星画像(5月19日3時頃)



※気象庁資料より

平成30年5月18日～19日(前線)における 秋田県内の直轄管理河川の状況

【平成30年5月20日 18時 時点】

1. 河川出水状況(秋田県内の直轄河川)

- レベル5(溢水) <1河川>
おものがわ
・雄物川
- レベル3(避難判断水位 超過) <1河川>
こよしがわ
・子吉川
- レベル2(氾濫注意水位 超過) <1河川>
よねしろがわ
・米代川

2. 直轄ダム洪水調節状況(秋田県内)

- 直轄2ダムで防災操作を実施
たまがわ もりよしざん
(玉川ダム、森吉山ダム)

3. 排水ポンプ車の出動状況(秋田県内)

- 秋田県(秋田市、能代市、大仙市、北秋田市)
 - ・排水ポンプ車 30m³/min × 3台
 - ・排水ポンプ車 60m³/min × 1台
 - ・照明車 × 3台
 - ・待機支援車 × 1台

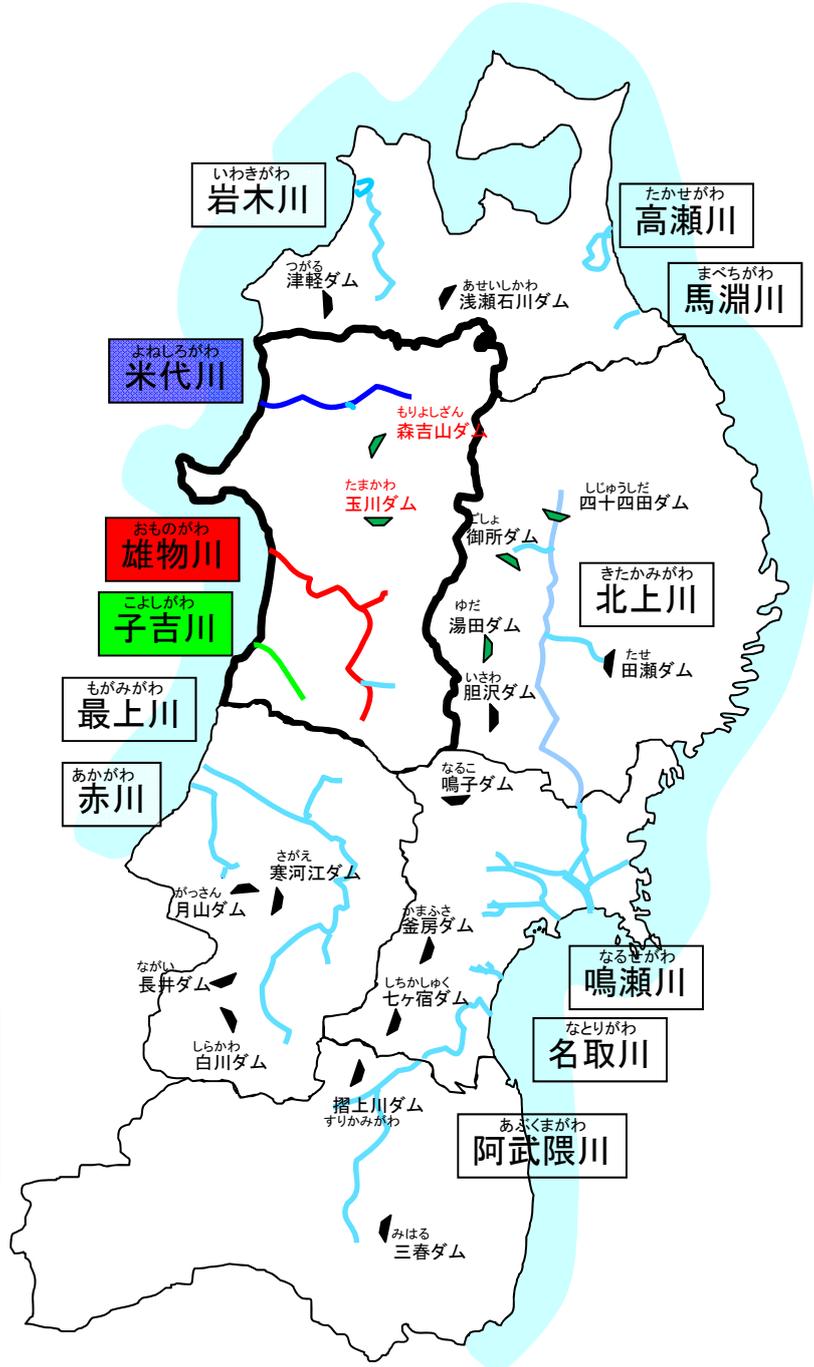
4. 一般被害状況(秋田県内の国管理区間)

- 雄物川 溢水(計8地区)
 - ・左手子地区(秋田市)
 - ・中村・芦沢地区(大仙市)
 - ・寺館大巻地区(大仙市) ほか5地区

5. 避難指示及び避難勧告(秋田県内)

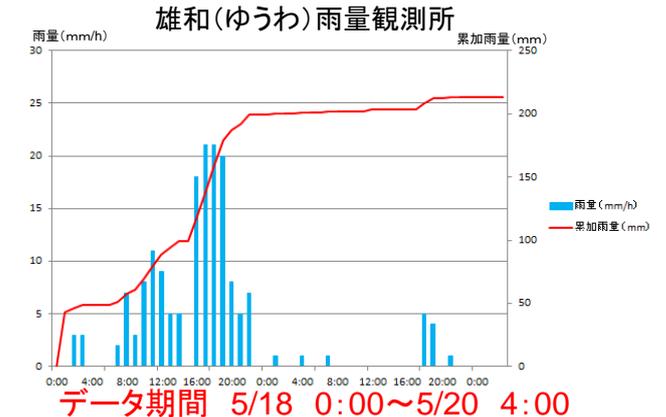
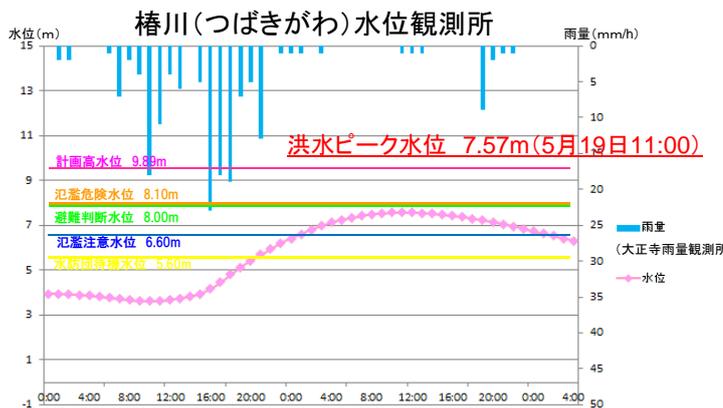
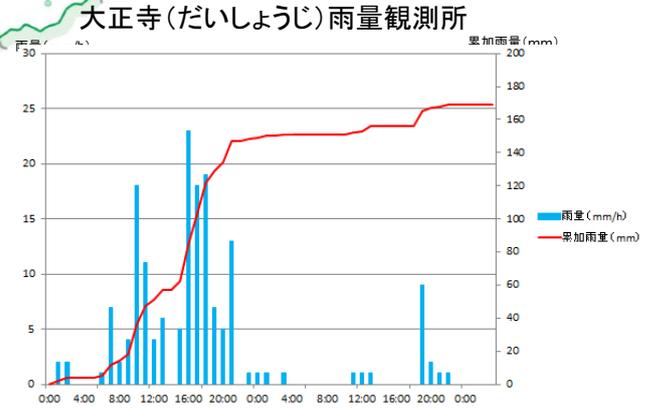
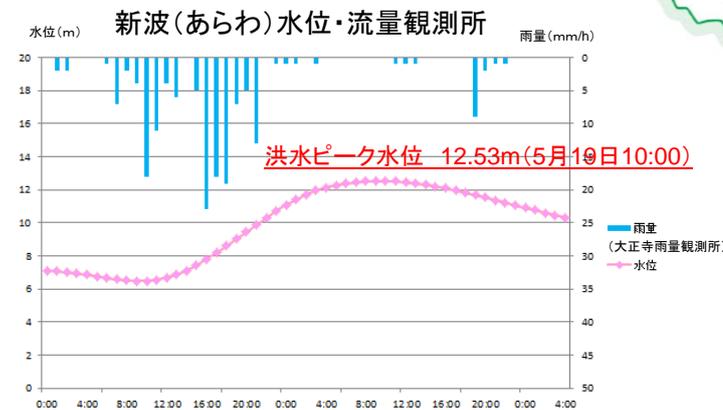
- 秋田県4市4町で避難勧告
秋田市、大仙市、由利本荘市、湯上市
井川町、三種町、八郎潟町、五城目町

※記載の数値は速報値であり、今後変更の可能性があります。

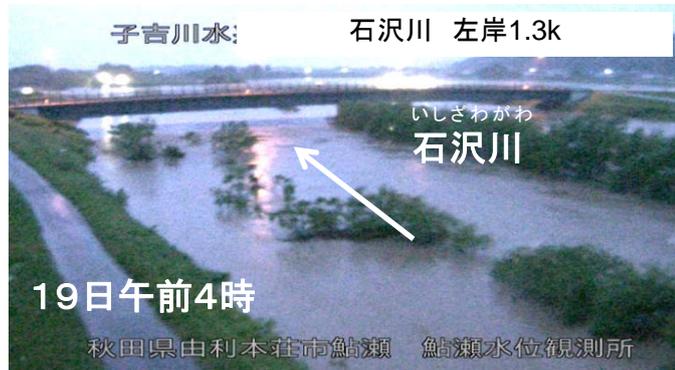


凡 例	
—	レベル5(越水)
—	レベル4(計画高水位超過)
—	レベル4(氾濫危険水位超過)
—	レベル3(避難判断水位超過)
—	レベル2(氾濫注意水位超過)
▲	防災操作実施ダム

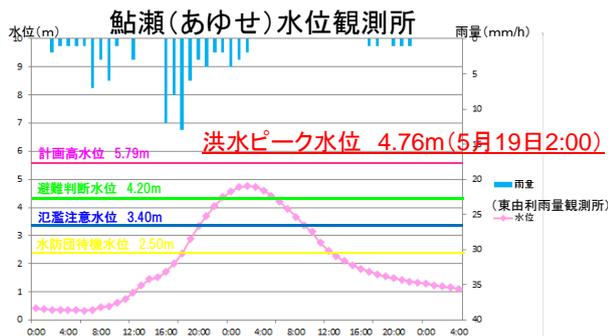
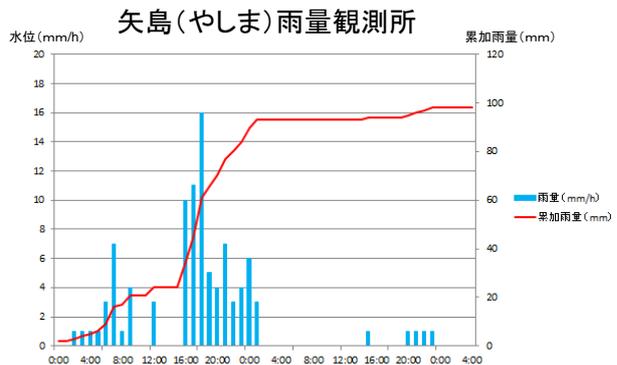
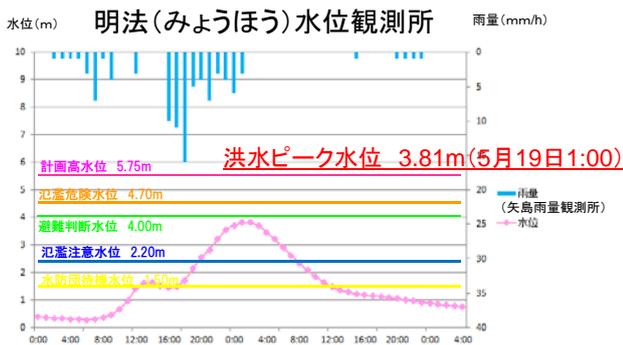
平成30年5月18日～19日出水における おものがわ 雄物川下流の状況



平成30年5月18日～19日出水における 子吉川流域の状況



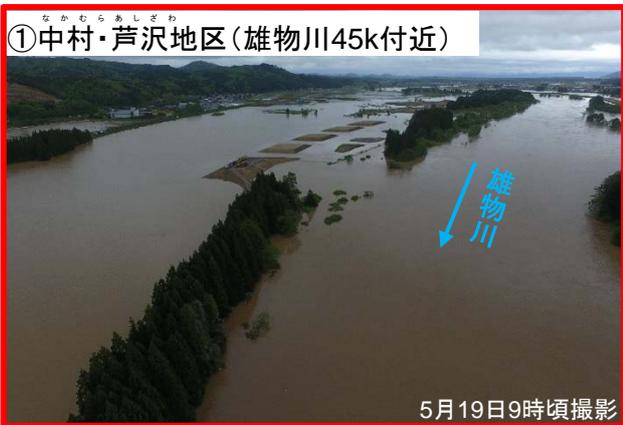
※水位、雨量の数値は正時データである



データ期間 5/18 0:00～5/20 4:00

平成30年5月18日出水(前線)における おものがわ 雄物川沿川の主な浸水状況

H30.5.18の被害
 外水氾濫



○H30.5.18の被害(平成30年5月20日 18:00時点)

■浸水面積 ※速報値

秋田市	0.82km ² (外水0.82km ²)
大仙市	1.99km ² (外水1.99km ²)
合計	2.81km ²

■浸水家屋数(住家)※速報値

秋田市	0戸 (外水0戸)
大仙市	0戸 (外水0戸)
合計	0戸

※数値は国土交通省調査による速報値であり
 今後変更となる場合がある

排水ポンプ車の稼働状況・効果

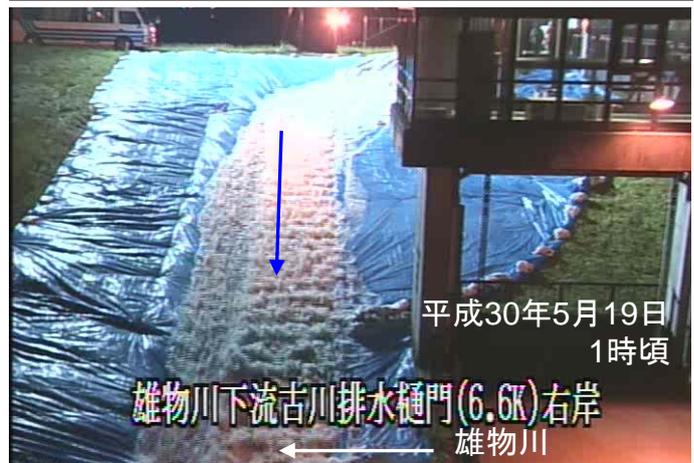
災害対策機械(排水ポンプ車等)の支援(秋田市)

5月19日00:00 運転開始
5月20日08:50 運転終了



現地に配置した災害対策機械
排水ポンプ車 30m³/min × 1台
照明車 × 1台
待機支援車(バス型) × 1台

あきたしにいだ ふるかわけいすいひもん
【秋田市仁井田地区(古川排水樋門)】
●排水ポンプ車の稼働(約33時間)により、
約60,000m³の内水を排除しました。
(25mプール約165杯分に相当)
●平成29年7月洪水では内水の影響により、国道13号の交通が途絶しました。
今回、排水が行われたことにより、**国道13号交通の途絶発生防止の効果**があったと想定されます。



平成29年7月洪水における浸水状況
(浸水により約31時間通行止め)



内水(宅地側にたまった水)を雄物川へ排水

⇒ **今回洪水では、浸水被害なし**

平成 30 年 5 月 18 日～19 日出水時の課題

- 避難勧告等に従わない人への対応
- 田畑や船などを見回っている人への対応
- 冠水道路、冠水が予想される道路の通行止め措置の徹底
 - ・ 道路管理者によるバリケードの設置
 - ・ 水位表示板等危険情報の明示
- 排水ポンプ車の出動要請タイミング
- 水位計設置箇所の要望
- 氾濫情報の出し方の運用
- 地元意見の関係機関への発信